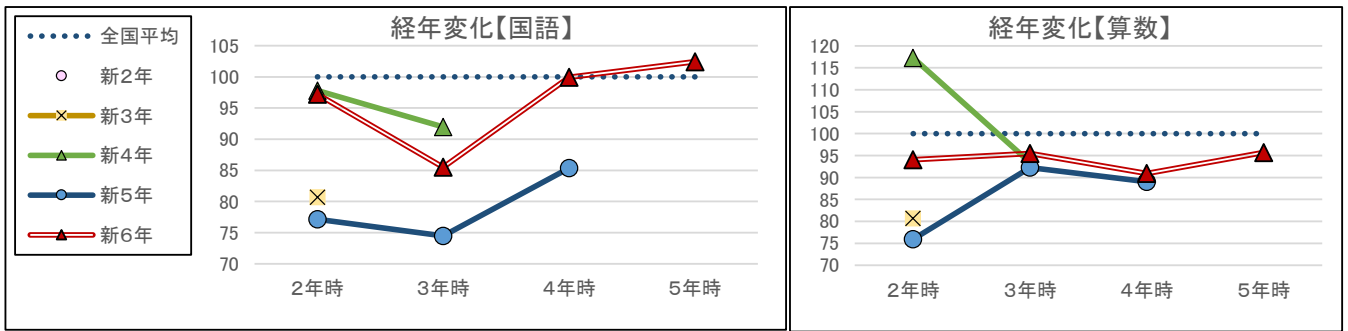


I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

① 各学年の標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）

※釧路市では、3～6年生を対象に標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に2年生においても実施しています。



② 学校の状況

- ・「家庭学習の取り組み」については、学校評価の結果から教師側より保護者側のポイントが低くなっている。教師の期待値より保護者、児童側の方が足りないと感じている様子である。「基礎学力の定着」は教師よりも保護者の方が足りないと感じている様子である。
 - ・昨年度の釧路市一斉学力テストの結果から、国語では全学年で「書くこと」が課題となり、算数でも、基礎基本の四則計算と共に、図や式で説明する力をつけることが課題である。
 - ・生活リズムチェックなどの結果から、学年によっては長時間スマートフォンなどの電子機器をあつかっている状況がみられる。
- ◀ 6年生 生活行動・学習活動調査から ▶
- 「勉強にパソコン(インターネットを含む)を利用している」の項目は全国平均より16%上回っている。
 - △「自分で時間を決めてテレビを見ている」の項目が全国平均より上回っているが、肯定的に答えている回答は50%である。
 - 全国平均の学習時間は「1時間」が多く、本校の児童は14%ほど下回っている。
 - 「自分は友達から認められている」に「あまりあてはまらない」が多く、全国より15%多い。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・ねらい(目標)が身につく課題の共有・意識化 ・「自分が考えたこと」を「決められた時間」で集中して書く、説明する機会を増やす。 ・少人数学習(学び合い)、ミニ先生の機会も増やし、知識活用と理解の深化を図る。 ・他教科・他領域の学習の中に自分の考えを書く活動を積極的に取り入れていく。 ・タブレットを言語活動で効果的に活用する機会を増やす。 ・複数の指導者による学習体制を整え、一人一人に応じた指導の充実(T・I、少人数等質割り、習熟度別指導)を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「釧路市授業スタンダード」の項目からピックアップした12項目を各学期にアンケートを行う。 ・学級の到達度を集計し、共通理解を図り学級指導に活用してもらう。 ・持ち物や筆箱の中身について詳しく書かれた「まるわかり朝陽」と学習規律を記載した「朝陽小スタンダード」の活用で学習規律の徹底。 ・合言葉「ちょ・う・よ・う」の実践 ちょ～挑戦!聴いた事を復活させよう(リテリング) う～うまい!ペアトークで説明し合おう よ～よく考えて!問題は全部書こう う～ウェルカム!いつでも振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び方や学習規律を記載した「朝陽小スタンダード」の評価規準を全校で達成する。 ・朝学習の効果的実践と指導情報交流 ・家庭学習の内容の情報交流、保護者への啓発。 ・朝の教室で家庭学習時間の記録をタブレットで行う。(3年生以上) ・日常の単元テストの分析、共有→成績ソフトの活用 ・放課後学習サポート(すっきりタイム)を週2回、複数の指導者で行う。

② 各学年の指導の重点

1年生の重点	4年生の重点
<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早めの平仮名・片仮名の定着を図り、自分の考えを文章で表現させる活動を取り入れる。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を操作する活動を多く取り入れ、体験を踏まえた数量感覚を養っていく。(10の分解・合成等) 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く説明する活動」の定着のため、全ての教科において自分の考えを表現する活動を取り入れる。また、文章の要約や読書など読み書きを増やす。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉での朝学習の基礎基本の定着と個別支援の学習で苦手克服を目指し、学力の底上げを図る。式を使って説明、書く活動も増やす。
2年生の重点	5年生の重点
<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書く活動を取り入れながら、「音読」の活動を増やすことで「読む・書く」のつながりを大切にする。また読むことへの抵抗を減らしつつ読解力を育てていく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別に個に応じた指導、繰り返し復習をすることで学習内容の定着を図っていく。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く説明する活動」に重点を置きながら、情報を整理して理由を書く活動を日常的に取り組んでいく。また、文章の読み取りにも取り組む。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体での基礎基本の定着を図りながら、個別に課題を抱えている児童への苦手克服に取り組んでいく。式を使って説明、書く活動も増やす。
3年生の重点	6年生の重点
<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く活動」の定着を深めることに加え、段落や構成が複雑な文章の読み取りの言語活動を意図的に設定していく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉での朝学習の基礎基本の定着と個別支援の学習で苦手克服を目指す。式を使って説明、書く活動も増やす。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く説明する活動」に重点を置きながら、話の聞き取りから情報を整理して自分の考えを書く活動など日常的に取り組んでいく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の定着を図るために、家庭学習を適切に活用し、学力の底上げを図っていく。式を使って説明、書く活動も増やす。